

1. 日時 平成17年11月15日(火) 5校時

2. 学級 1年4組 男子20名 女子15名 合計35名 北校舎4階 第一美術室

3. 主題 色彩の学習 「平面構成における美の秩序」

4. 主題について

本主題は、平面構成の学習において美の秩序について理解し、実際に画面分割や彩色活動を通して美的な構成を構想することにより、全ての造形活動及び鑑賞活動の基本となる美的感性を育てることをねらいとするものである。実際の学習活動においては、前時までの「色彩の学習」(明度、彩度、色相、色相環、補色関係など)をよりどころに、自らが創りだす画面の分割と配置による構成に、効果的な配色がどうあればよいかを考えながら、ポスターカラーを使用して彩色するものである。本題材で学習する内容は、その後の学習(2年のデザイン領域)に系統性を持つものであり、絵画領域における画面構成のありかたや彩色の仕方について基礎的な学習としても重要な内容である。

教科領域に対する生徒の意識の実態については、入学直後のアンケートによれば、平面的な学習内容よりも立体的な学習内容に興味や関心がある生徒が多数を占めていた。また、平面的内容を主とする学習の中では、絵よりデザインの学習に興味がある生徒が過半数であることが示されていた。前時までの各学習(描画の基本、写生会、粘土スケッチ、色彩の学習)の様子からもその関心の違いが伺われる。

このような生徒の実態をふまえ、本主題において、生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組むことができるように、自らの感性を働かせて構成の美しさや楽しさを積極的に追及する場を設定し、これまでの学習内容をよりどころに、デザイン領域の学習を深めていきたい。

5. 指導と評価の計画(別紙)

6. 本時の達成目標

関心・意欲・態度	感情を豊かに表現する上で、色や形が重要な役割を果たしていることに気づき、発表することができる。
発想や構想の能力	色や形のからイメージや印象をもとに、直線や曲線を意図的に組み合わせて画面を構成することができる
創造的な技能	表現意図をもとに、構成美の要素(グラデーション・リピテーション・シンメトリー)を取り入れた平面構成をすることができる。
鑑賞の能力	自他の作品のよさや違い、工夫している点について、自分のことばで考えや意見を発表することができる。

7. 本時の指導の構想

(1) 指導構想及び留意点

美しさの要素としては、色のみではなく形やその組み合わせについても不可欠なものである。前時までの学習をとおり、生徒たちは、さまざまな領域の作品と出会っている。しかし、それらの作品がなぜ美しいのかということについては、色そのものの美しさというほかに具体的な視点をもちあわせていない生徒が多数であると指導の実態からとらえている。本学習では、構成美の要素を理解した上で、自分なりに美しいと感じる構成を、画面を一定の条件の下に分割することにより平面構成の制作をさせる授業である。おさえてきたい造形要素としては、グラデーション、リピテーション、シンメトリーなどである。これらの用語の意味を適切に理解させ、自らが美しいと感じる画面構成の分割に取り組ませたい。

(2) かかわりあいを生かすてだてについて

はじめに、各自で学習シートを使い単位形の4等分割の方法を試みる。次に、班ごとに限定された自分の分割方法と、他者のそれとを比較しそのよさや違い、工夫していることを相互に学びあう。その学びあいの中から、自分が美しいと思う構成の方法を思考させ、具体的に構成美の要素をとらえた画面構成を考えさせる。

8. 展開案

個に配慮する視点<A>達成度 学習速度 <C>取り組み方
<D>見方・考え方 <E>興味・関心 <F>生活経験

段階	過程	時間	学習内容	評価の視点・方法	指導上の留意点	資料・教具
導入	課題把握	20分	<p>1. 自分なりに美しいと感じる構成を複数の単位形の自由配置により追求する。</p> <p>2. 自分なり工夫した構成の美しさについて、班内で資料「美の秩序・構成の基本」を参照しながら確認する。</p> <p>3. 本時の学習課題を把握する。</p> <p>構成美の要素（グラデーション・リピテーション・シンメトリーなど）を用いて美しい画面構成を考えよう。</p>	<p>1. 自分なりに美しさを感じる構成を追究することができる。(机間指導)</p> <p>G 1、G 2 表現意図をもって、自分なりの美しさを追究することができる。</p> <p>G 3 自分なりの意図をもって美しいと感じる構成を追究できるように、実演指導をする。</p> <p>2. 自他の作品を比較し、その相違から構想を深めることができる。</p>	<p>1. 複数の単位形を、無作為に配列することでは、美しい構成になりえないことに気づかせ、本時の学習の目標を把握させる。(C)、(D)</p> <p>2. 自分なりに美しいと感じるように構成した画面のなかに、美の要素がいくつか含まれているかを確認させる。(D)</p>	<p>・学習シート</p> <p>・画用紙(升目)</p> <p>・単位形用紙(四角形、三角形、円形)各3段階</p> <p>・のり、はさみ</p> <p>・資料集</p> <p>・紙版書</p> <p>美の要素</p> <p>リピテーション</p> <p>グラデーション</p> <p>シンメトリー</p>
展開	課題追求	20分	<p>3. 表現意図をもち、課題に取り組む。</p>	<p>3. 課題解決にむけて積極的に表現活動に取り組むことができる。(机間指導)</p> <p>G 1. 既習内容をよりどころに美しいと感じる画面分割ができる。</p> <p>G 2. 既習内容をよりどころに画面分割ができる。</p> <p>G 3. 既習内容を用いて画面が分割できるように個別に実演指導をする。</p>	<p>3. 既習内容を課題解決へのよりどころとし、美しさを感じる画面構成に迫ることができるように、直線や曲線による画面分割をさせ、その組み合わせを考えさせる。(B)、(D)</p>	<p>・学習シート</p> <p>・画用紙(作品用)</p> <p>・定規、コンパス</p> <p>・はさみ</p>
終末	まとめ	10分	<p>4. 本時の学習を振り返り、課題解決に向けて工夫した点や課題を道しるべに記述し、発表する。</p> <p>5. 本時のまとめとして、次時の学習への意欲化を図る。</p>	<p>4. 本時の学習で学んだことを自分のことばで成果と課題としてまとめることができる。</p> <p>5. 次時の学習の計画とその見通しをもつことができる。</p>	<p>4. 美しい画面構成には、どのような工夫が必要か、生徒自身のことばで発表させたい。「どのような意図をもって構成することで美しさを表現することができるか」(A)</p> <p>5. 次時の学習内容の確認</p>	<p>・道しるべ</p> <p>・実物投影機</p>